

## Brown Bag Seminar

No. 074

オンライン  
録画期間限定公開  
(Zoom)  
登録はこちら



2022  
11.16 (水) 12:10  
12:50

- 12:10-12:15 ◆ 演者紹介
- 12:15-12:40 ◆ プレゼン
- 12:40-12:50 ◆ 質疑応答

[https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN\\_ViYMs5exS6Ok9BI60Ev3\\_g](https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_ViYMs5exS6Ok9BI60Ev3_g)

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

# 人の行動を測り、変えていく情報技術

司会：田中 俊徳 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)

## 荒川 豊 教授

システム情報科学研究院 情報知能工学部門



センサ技術と AI 技術の進展によって、我々の行動はいつでもセンシング(測定・数値化)されています。歩数、睡眠、心拍、状態(作事中か否か)などは当たり前として、感情やストレスまでセンシング可能になってますし、何なら予測も可能になっています。本セミナーでは、その技術について簡単に解説するとともに、このようなユビキタスコンピューティングが広がった社会がどうなるのかについても考えたいと思います。すでに我々は、自分で意思決定していると思っても、スマートフォンから得られる情報に頼りきりですよね。となると、先読みした AI によって意図的に操られてる未来もありえるということです。想像を膨らませながら一緒に考えましょう。

福岡県・糸島市出身。慶應義塾大学で、学部、修士、博士を過ごし、2006年に博士課程を修了し、博士(工学)の学位を取得。卒業後、慶應義塾大学で助手を3年、九州大学で助教を4年、奈良先端大で准教授を6年務め、2019年に九州大学の教授として着任。途中、助教時代にフランス3ヶ月、ドイツ1年、准教授時代にアメリカに1年、計3回、留学を経験。研究テーマは、学部～博士、最初の助手までは光ネットワークの研究でしたが、30歳を機に大きく分野を変えて、現在は、ユビキタスコンピューティング、IoT (Internet of Things) などが専門。特に人の行動センシングに関する研究を行っています。また、情報技術によって、より良い行動を促す ICT 行動変容という分野も開拓中で、これまで35件以上の賞を受賞しました。また過去10年に常に5-10社と共同研究を実施しています。

### Key Words

人間行動認識  
行動変容支援